

刈谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略【期間延長】

計画期間：2015年～2022年（2年再延長）

1. 延長の考え方

- 現行の刈谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下「総合戦略」という）は、策定中の第8次刈谷市総合計画の中に総合戦略の内容を含めることとしたため、2020年1月に2020年度末まで計画期間を延長するための改訂を行った。
- その後、第8次刈谷市総合計画を新型コロナウイルスの感染拡大の影響を踏まえた計画とするため、策定期間を2022年度末まで延長した。そのため、総合戦略の計画期間も改めて2022年度末まで延長する。
- 総合戦略の計画期間延長にあたっては、目標値の最終年が2020年度となっているため、2022年度の目標値を再設定する。
- 2022年度の目標値については、2020年度時点の実績値を調査し、目標値の達成状況や現在の新型コロナウイルスの感染拡大の状況を踏まえ再設定する。

2. 目標指標一覧（目標値を再設定している場合は下線網掛）

【基本方針】総合戦略により目指す姿（冊子掲載ページ P.4）

重要業績評価指標（KPI）	単位	策定時 2014	実績値 2020	目標値	
				2020	2022
住みやすさを実感している市民の割合	%	82.4	84.7	85	85
住み続けたいと思っている市民の割合	%	88.7	87.0	90	90
誇りや愛着を感じている市民の割合	%	75.8	71.1	80	80
合計特殊出生率	—	1.77	1.53 (2019)	1.82	1.82
0～9歳人口	人	14,990	14,575 (2020.1.1)	16,000	16,000

【基本目標1】結婚・子ども育成支援（冊子掲載ページ P.7）

～若い世代の結婚・出産・子育てなどの希望をかなえる～

重要業績評価指標（KPI）	単位	策定時 2014	実績値 2020	目標値	
				2020	2022
出生数	人	1,747	1,441 (2019)	1,800	1,800
子どもを生き育てやすいと思う市民の割合	%	78.1	80.9	80	<u>81</u>
待機児童数	人	8	11	0	0

【基本目標2】しごと・雇用創出支援（冊子掲載ページ P.10）

～だれもが意欲的に生きがいを持って働けるまちをつくる～

重要業績評価指標（KPI）	単位	策定時 2014	実績値 2020	目標値	
				2020	2022
製造品出荷額等	億円	17,389	16,543 (2019)	17,700	17,700
市内の商店街でよく買い物をしている市民の割合 ※	%	47.4	85.2	50	<u>90</u>
刈谷市全産業従業員数 (事業所別)	人	102,374	114,834 (2016)	120,000	120,000

※2020年の市民意識調査から、設問を「市内の商店街でよく買い物をしていますか」から「主に市内の店舗で買い物をしていますか」に変更したため、数値が大幅に増加した。

【基本目標3】活動・交流・にぎわい支援（冊子掲載ページ P.14）

～安心・快適に住み続けられ、多くの人を訪れるまち（地域）をつくる～

重要業績評価指標（KPI）	単位	策定時 2014	実績値 2020	目標値	
				2020	2022
観光施設の利用者数	万人	1,046	1,108 (2019)	1,100	<u>1,120</u>
刈谷駅周辺が活気や魅力があると思う市民の割合	%	55.5	60.6	65	65
各種施設が整い、文化やスポーツ、生涯学習などに取組みやすいと思う市民の割合	%	75.4	74.7	77	77

【基本目標4】住環境整備（冊子掲載ページ P.18）

～安心・安全な定住環境を整備する～

重要業績評価指標（KPI）	単位	策定時 2014	実績値 2020	目標値	
				2020	2022
快適で便利な住環境が整備されていると思う市民の割合	%	79.8	80.5	80	<u>81</u>
災害に強いまちと思う市民の割合	%	55.9	63.4	70	70
犯罪や事故への不安がなく安心して外出できると思う市民の割合	%	61.1	65.1	63	<u>67</u>
車や自転車などで移動しやすいと思う市民の割合	%	65.4	70.1	66	<u>71</u>